

# 異国に思いを馳せて

## Key words

移民宿（外航旅館）、移住への思い、渡航者

### 1 活用する主な展示および資料

- 展示資料「横浜周辺の移民宿」
- 展示資料「熊本屋旅館の旗」
- 展示「移民の七つ道具」コーナーのトランク
- 展示映像「なぜ海外へ行ったのか」インタビュー映像



### 2 教科・領域との関連性および総時間数

- 中学校社会科（歴史的分野）
- 高等学校地理歴史科（日本史探究）
- 総合的な学習（探究）の時間
- 全6時間程度（事前1時間、見学2～3時間、事後2時間～）



### 3 目標

- 異国（海外）への出稼ぎや移住をする日本人のために役割を果たした移民宿（外航旅館）の役割や機能について理解することができる。【知識・技能】
- 異国に思いを馳せて異国へ渡った当時の日本人の思いについて肯定的に推察し、現在の日本に移住する外国人や外国につながる人々の思いに重ね合わせて共感的に考えようとしている。【思考・判断・表現】
- 横浜をはじめ神戸、長崎の波止場から異国へ渡った日本人について、移民宿を中心とした諸展示資料から主体的に史実をつかもうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

### 4 単元について（教材観・単元設定の理由・資料館活用の視点など）

明治時代以降、異国への出稼ぎや移住をする日本人のための外航旅館である「移民宿」が、横浜や神戸、長崎の波止場周辺にあった。海外移住資料館のある横浜は、神戸港と並ぶ移民渡航の出発港であり、多くの渡航者が出発までの数日間をこの地で過ごした。これらの人々に対し、宿の提供だけでなく、渡航手続きやさまざまなサービスを提供したのが移民宿である。なお、1928年に国立移民収容所（神戸）が設立され、移民宿は消滅していった。当時の日本人が移住に際し種々の理由を抱えながら、まだ見ぬ異国に思いを馳せ、移民宿で過ごした数日間はどうのようなものだったのか、当時の人々の思いに寄り添いながら考える上で、移民宿は有益な教材となる。そこで、本単元では、①事前学習において日本人移民の渡航に対する思いの推察、②資料館見学で移民宿に関連する展示資料の鑑賞、③事後学習における海外移住資料館付近の横浜港や移民宿「熊本屋」など、日本人移民に関連するチェックポイントやモニュメントについて探究するフィールドワークを行う。①～③の過程を踏むことで、トランスナショナルな人の移動に伴う世界規模での相互依存関係と一国における多文化共生の課題について考える足掛かりとしたい。

社会系教科と総合的な学習（探究）の時間との教科横断型の単元構成を検討しても良い。

## 5 展開計画

流れ	主な学習活動と子ども（学習者）の意識	留意点
事前学習	<p><b>【異国に渡った日本人の思い】</b></p> <p>1. 異国に移住した日本人は、日本を離れる日を待つまでどのような思いだったのか推察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●知らない国での生活に不安を感じていた。</li> <li>●新しい生活に期待を寄せていた。</li> </ul> <p>2. 異国の地での日本人移民の生活についてつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●戦争を通して移民に対する人権侵害があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●紙芝居「海を渡った日本人」の場面①～⑥を教師が朗読し、当時の異国に渡る日本人の立場になって考えるよう促す。</li> <li>●紙芝居「海を渡った日本人」の場面⑦～⑩から、戦中・戦後の日本人移民について考察させる。</li> </ul>
資料館見学	<p><b>【移民宿からみえる海外渡航者の思い】</b></p> <p>1. 移民宿について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●移民宿が乗船切符の手配や出航手続きを代行した。</li> <li>●渡航者にとって移民宿は重要な役割だった。</li> </ul> <p>2. なぜ海外へ行ったのか、その理由をインタビュー映像から考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●軍事政策のために将来を考えさせられたから。</li> <li>●親孝行だと思って写真花嫁として海を渡った。</li> <li>●母親を亡くし、ハワイにいる父を頼ってハワイへ移住した。</li> </ul> <p>3. 異国に思いを馳せた日本人の視点から、もう一度、館内を見学し関連する展示物を探し記録する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●展示資料「横浜周辺の移民宿」など、移民宿に関する展示を鑑賞し、移民宿の役割や機能を捉えられるようにする。</li> <li>●トランクにある移民宿のステッカーにも着目させる。</li> <li>●インタビュー映像「なぜ海外へ行ったのか」を鑑賞し、ワークシート（資料1）に移住した理由を記入させる。</li> <li>●ワークシート（資料1）に、見つけた展示物を記録させる。</li> </ul>
事後学習	<p><b>【異国へ渡った日本人の思いと日本に移住する外国人・外国につながる人々の思い】</b></p> <p>1. 異国へ渡った日本人について探究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●海外移住資料館近隣でのフィールドワークを行う。</li> </ul> <p>2. ①異国へ渡った日本人の思いを再考し、さらに、②日本に移住する外国人・外国につながる人々の思いを考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●当時、異国に渡った日本人は日本を離れるまでお金を切り詰めて移住地に渡ろうとした。</li> <li>●移住地で錦を飾ってから日本へ帰ろうと思っていた。</li> <li>●異国へ渡った日本人と日本に移住する外国人・外国につながる人々の思いには重なる部分がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料館見学後、「日本人の海外移住と横浜開港の歴史MAP」（資料2）を基に、グループで訪問場所を決め、フィールドワークを行う。</li> <li>●フィールドワーク後、「宮里定三さんのインタビュー」（資料3）を読み当時の異国へ渡った日本人の思いを再考し、ワークシート（資料1）に記入させる。</li> <li>●現在、日本に移住する外国人・外国につながる人々の思いについて考察させる。</li> </ul>

## 6 学習後の姿

本単元を通し、移民宿の役割や機能について理解し、日本を離れ海を渡った日本人の理由を考察するとともに、異国に思いを馳せて異国へ渡った日本人の思いと現在の日本に移住する外国人や外国につながる人々の思いを重ね合わせて共感的に捉えることで、トランスナショナルな人の移動に伴う世界規模での相互依存関係と一国における多文化の共生の課題について追究する態度を育みたい。

## 7 授業づくりのための参考資料

- JICA 横浜 海外移住資料館(2023)「日本人の海外移住と横浜開港の歴史MAP」(資料2)